



2016年11月22日

上智大学グローバル教育センター

対日理解促進交流プログラム カケハシ・プロジェクト
(KAKEHASHI Project)
北米地域（米国）への若手研究者派遣（大学院/社会人）
プログラム募集要項

I. 事業概要

「対日理解促進交流プログラム」は、日本政府（外務省）が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有する将来を担う人材を招へい・派遣するものです。カケハシ・プロジェクトは、「対日理解促進交流プログラム」のうち北米地域を対象とした交流事業です。

参照：外務省HP（カケハシ・プロジェクト）

http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/page25_000243.html

今年度は、カケハシ・プロジェクトのスキームにおいて、米国からの若手研究者 50 名を日本へ招へいするとともに、日本の若手研究者 50 名を米国へ派遣する若手研究者相互交流プログラムが実施されます。

両国の若手研究者が相手国の機関(大学院、シンクタンク等)を訪問し、日本の強み、日頃の研究テーマに関してプレゼンテーションを行うとともに、テーマ別に意見交換を行い、日米関係について考察します。

また、プログラム中、帰国後、日本の外交姿勢や魅力について、被招へい者、被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

■若手研究者派遣(相互交流)プログラムの目的

- (1) To promote mutual trust and understanding among the people of Japan and the USA to build a basis for future friendship and cooperation (日米の友好関係の基礎を築くため相互理解)
- (2) To promote a global understanding of Japan's economy, society, history, diverse culture, politics and foreign policy(日本の経済、社会、文化、政治、外交政策の理解の促進)
- (3) To contribute to fostering more experts on Japan and building the network between Japan and the US(日本研究の専門家育成、日米のネットワークの構築)
- (4) To disseminate information on Japan's attractions through communication devices including SNS(Social Media)(SNS 等を通じての日本の魅力についての情報発信)

■派遣プログラム実施期間

(1) 派遣期間：8日間(往復の旅行期間含む、別添「標準日程案」を参照下さい)

※日本発(水曜日)～日本着(水曜日)のスケジュールとなります。

(2) 派遣時期：2017年3月1日(水)～2017年3月8日(水)

■派遣対象国

米国(ワシントンDC)

■対象者及び派遣人数

対象者：大学院生3名

なお、本学からは引率教員等がこれに加わります。

II. 派遣プログラム

■プログラム内容(別添:全体日程案参照)

(1) オリエンテーション

(2) 日本大使館及び米国政府関係機関等表敬訪問

(3) 米国大学訪問

George Washington University (Graduate School of Education and Human Development)

(4) 日系企業・米国企業等訪問

(5) 歴史的・文化的施設視察

(6) 報告会(『アクションプラン』の作成・発表)

※アクションプランとは、米国で学び、経験したことを元に作成する帰国後の活動計画です。

III. 応募・条件

■応募条件

本事業の趣旨を理解し、本事業へ参加できる大学院生を対象とします。

(1) 若手研究者派遣(相互交流)プログラムの目的を達成できる大学院生 ※1

(2) 心身ともに健康であること。

(3) 日本国籍を有していること。あるいは在留資格「永住権」を有するか、特別永住者証明書を有し日本に居住していること。 ※2

(4) 米国大学を訪問し、日本の強み、専門テーマについて英語で発表を行い、米国大学院生と積極的に意見交換を行うことができること。

(5) 本事業の趣旨を理解し、対日理解のための情報(日本の強み・魅力等)を積極的に発信できること。

(6) 旅券を持っていない参加者は参加決定となった後、早急に旅券を申請・取得すること。

※1過去に日本政府による派遣事業への参加経験がない者としてします。

※2永住者及び特別永住者(日本居住者)については、エントリーフォームと一緒に証明書(両面)のコピーを提出してください。外務省へ確認を取った後、参加の可否が決定いたします。

■プログラム費用

本事業で負担する経費

- ・ 日本を出国する国際空港～派遣国 往復国際航空賃
- ・ 米国滞在中宿泊費
- ・ 米国滞在中食費
- ・ 米国内移動交通費
- ・ 施設入場料
- ・ 海外旅行傷害保険料

参加者が負担する経費

- ・ 自宅～日本を出入国する国際空港間の往復交通費
- ・ フライト時間により、国際線出発・到着空港付近で前泊・後泊が必要となる場合の国内宿泊費
- ・ ESTA (アメリカ電子渡航認証) に係る費用 (約14ドル)
- ・ パスポート取得費

IV. プログラム中の責任範囲

- (1) 各国の事情等やむを得ない事由により、旅程や宿泊先が変更される場合があります。
- (2) 実施団体(JICE)は、派遣中、派遣団の健康状態や行動等が不適切と判断した場合、プログラム参加を取り消し、帰国を命じる場合があります。参加取り消しによって生じる費用は、当該者に請求する場合があります。
- (3) 派遣時期の延長又は中止により個人の費用負担が発生した場合や、第三者(航空会社、ホテル等宿泊施設およびレストランを含む)のいかなる行動または過失、並びに参加者に対する損害及び所持品に対して、JICEは一切の責任を負いません。
- (4) プログラムは、現地の在外公館等と治安状況を確認・判断の上実施致しますが、参加者側も安全管理面に問題ないと判断し、本プログラムに参加頂きますので、第一義的には安全管理の責任は参加者にあると考えております。万が一事故等が起きてしまった場合、現地へ関係者・保護者を派遣する等の対応については、参加者側にお問い合わせをいたします(JICEで加入する海外旅行保険には、救援者費用 が含まれておりますが、対象となるかどうかは保険会社の判断となります)。JICEは、現地日本総領事館等の在外公館と協力し、各種手配のお手伝い等、出

来る限りの後方支援をいたします。

■応募方法

所定の申請書式に記入の上、プリントアウトしたものを以下のとおり提出してください。

提出先：上智大学グローバル教育センター(四谷キャンパス2号館1階)

提出期限：2016年12月12日(月曜日) 17:00 (時間厳守)

受付時間：月曜～金曜 9:30～11:30、12:30～17:00

原則として、本人による窓口での提出とし、郵送では受け付けません。

■提出書類

- ① (日本文) 応募申込書(個人用)(様式②) Loyolaからダウンロード可。
- ② (英文) 志望動機を自身の研究テーマと関連付けて記載
所定様式なし、書体はTimes New Roman 12 ポイント、A4サイズで1枚以内(400～500 WORD程度)

■選考方法

提出書類に基づく書類審査を通過した方を対象に、12月14日(水)、15日(木)の間に面接を実施し、本学からの推薦者を決定します。

■問合せ先

上智大学グローバル教育センター (四谷キャンパス2号館1F)

TEL: 03-3238-3521 (担当:亀田) Email: overseas@cl.sophia.ac.jp

■本プログラムを企画している一般財団法人日本国際協力センター(JICE)について■

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)は、1977年の設立以来、主に開発途上国を対象とした国際協力事業に関する業務を行っています。現在は開発途上国のみならず、我が国と諸外国との互惠関係の強化に資する事業を通じて、国際社会の発展に寄与することを目的とした事業を行っています。

主な事業は、外務省をはじめとする中央官庁、独立行政法人国際協力機構(JICA)、大学、地方自治体、公益法人、企業、国際機関および外国政府などの国際研修運営、国際交流、留学生受入支援、通訳派遣、日本語研修、コンベンション・セミナー、プロジェクト支援、開発教育支援事業です。



対日理解促進交流プログラム (KAKEHASHI Project)
【若手研究者(大学院生)派遣プログラム】全体日程(案)7泊8日

2016/10/18

※プログラムの内容は変更の可能性があります。

日時		Aグループ (上智大学他)	Bグループ (東京大学・早稲田大学)	Cグループ (政策研究大学院大学・慶応大学 他)	宿泊	
		プログラム				
1日目	3/1 (水)	午前～ 午後	成田/羽田空港集合、 渡航説明・健康状態確認			機内泊
			離日【成田/羽田国際空港発 → 米国(ワシントン)着】			
2日目	3/2 (木)	午前	オリエンテーション 【表敬】日本大使館・米国政府関係機関			ワシントンDC
		午後	【企業/シンクタンク訪問】	【企業/シンクタンク訪問】	【企業/シンクタンク訪問】	
3日目	3/3 (金)	終日	【大学訪問・学生交流】① ジョージワシントン大学 ・日本人大学院生によるプレゼンテーション ・米国大学院生によるプレゼンテーション ・ディスカッション	【大学訪問・学生交流】① ジョンホプキンス大学 ・日本人大学院生によるプレゼンテーション ・米国大学院生によるプレゼンテーション ・ディスカッション	【大学訪問・学生交流】① ジョージタウン大学 ・日本人大学院生によるプレゼンテーション ・米国大学院生によるプレゼンテーション ・ディスカッション	ワシントンDC
4日目	3/4 (土)	終日	【歴史的・文化的施設視察】例: マウントバーノン			ワシントンDC
5日目	3/5 (日)	午前	【市内視察】/【自由研究】			ワシントンDC
		終日	【ワークショップ】			
6日目	3/6 (月)	午前	【視察】日系企業・米国企業訪問			ワシントンDC
		午後	【報告会】(例: ジョージワシントン大学/ジョンホプキンス大学/ジョージタウン大学)②			
7日目	3/7 (火)	午前～ 午後	帰国準備			機内泊
			【帰国】米国(ワシントン)発			
8日目	3/8 (水)	午前～ 午後	成田/羽田国際空港着 解散			